

令和 7 年 10 月 7 日

報道機関 各位

山陰研究交流会「江戸時代後期の石見国銀山附幕領における錢遣い
—計算基準貨幣としての「通用錢」—」開催

◆本件のポイント

- ・山陰研究交流会では、毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介しています
- ・江戸時代の貨幣・石見国銀山附幕領の基準貨幣についての研究報告です
- ・江戸時代、石見国銀山附幕領では“錢”が基準貨幣だったことがわかってきました

◆本件の概要

2025 年度山陰研究交流会を開催します。毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介していきます。10 月は小林准士教授(法文学部)が「江戸時代後期の石見国銀山附幕領における錢遣い—計算基準貨幣としての「通用錢」—」をテーマに発表します。

江戸時代の日本では金・銀・銅の三貨が貨幣として使われ、東日本では金が、西日本では銀が基準貨幣となっていたことが知られています。しかし、近年、錢が計算基準貨幣となっていた地域のあることが明らかになりつつあります。本報告では、石見国銀山附幕領でも近世後期には錢が基準貨幣だったことを明らかにし、その歴史的背景を探ります。

◆概要内容

【日 時】2025 年 10 月 22 日(水) 16:00~17:30

【テ ー マ】江戸時代後期の石見国銀山附幕領における錢遣い—計算基準貨幣としての「通用錢」—

【発 表 者】小林 准士(島根大学法文学部・教授)

【開催方法】Zoom によるオンライン(要事前申込み)

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学法文学部山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2025091700019/>



◇その他

取材につきましてはミーティング URL をご案内いたしますので連絡先にご連絡ください。
開催前日や対面での取材につきましても対応いたします。

【添付資料: なし 】